

「ファリサイ派の人々と律法学者たちを非難する 1」 2015年08月19日

ルカによる福音書 11章 37節～44節。イエスはこのように話しておられたとき、ファリサイ派の人から食事の招待を受けたので、その家に入って食事の席に着かれた。ところがその人は、イエスが食事の前にまず身を清められなかったのを見て、不審に思った。主は言われた。「実に、あなたたちファリサイ派の人々は、杯や皿の外側はきれいにしているが、自分の内側は強欲と悪意に満ちている。愚かな者たち、外側を造られた神は、内側もお造りになったではないか。ただ、器の中にある物を人に施せ。そうすれば、あなたたちにはすべてのものが清くなる。それにしても、あなたたちファリサイ派の人々は不幸だ。薄荷や芸香やあらゆる野菜の十分の一は献げるが、正義の実行と神への愛はおろそかにしているからだ。これこそ行うべきことである。もとより、十分の一の献げ物もおろそかにしてはならないが。あなたたちファリサイ派の人々は不幸だ。会堂では上席に着くこと、広場では挨拶されることを好むからだ。あなたたちは不幸だ。人目につかない墓のようなものである。その上を歩く人は気づかない。」

主イエスはユダヤ人の共同体から排斥されていた徴税人や罪人（重症の病人）たちとしばしば食卓を囲み、楽しんでいた。一方、主イエスを敵対視していたファリサイ派の人たちの食事の招きにも応じられた。招かれた食事の席で、主イエスは食事前の身の清めを行わなかった。清めは衛生上の手洗いではなく、水の量も作法も厳格に定められた宗教上の儀式である。招いたファリサイ派の人は清めの儀式をしない主イエスを不審に思った。顔に表れた不審を見て、主イエスは先手を取り語り出した。

あなた方ファリサイ派の人々は清めの儀式を守っている。杯や皿も規定通り清め、外側はきれいにしているが、内側は強欲と悪意に満ちている。外側を造られた神は内側もお造りになった。器の中の物を貧しい人に施しなさい。そうすれば、あなた方は清い者となる。非難の言葉は続く。「それにしても、あなたたちファリサイ派の人々は不幸だ。薄荷や芸香やあらゆる野菜の十分の一は献げるが、正義の実行と神への愛はおろそかにしているからだ。」薄荷と芸香は、葉が芳香を放ち、薬用となる植物である。これらを十分の一献げて、外側はもっともらしく整えているが、最も大切な内側の、神への愛、隣人への正義をこそ行うべきである。そして「もとより、十分の一の献げ物もおろそかにしてはならないが」と付け足している。更に「あなたたちファリサイ派の人々は不幸だ。会堂では上席に着くこと、広場では挨拶されることを好むからだ。あなたたちは不幸だ。人目につかない墓のようなものである。その上を歩く人は気づかない」と言われる。会堂では上席に座り、広場では挨拶されることを喜び、人々から賛辞と尊敬を受けることを当然としている。また当時、死人は汚れたものと見なされた。墓もなく埋葬された人々が地中に眠っていた。知らずにその上を歩けば汚される。ファリサイ派の人々は自分の汚れに気づかず、それでいて、自分を清いと豪語している。

招かれた食卓で、このような非難を浴びせる主イエスの言葉に圧倒される。齒に衣を着せぬとは、このことであろう。民衆の苦難を見ようともせず、自らの宗教的知識と権威をひけらかし、踏ん反り返っているファリサイ派の人々への不誠実に怒り心頭であったのである。このファリサイ派のような人はいつの時代にもいる。そして、自分自身が奢っていないかと思わされる。（続く）